

附属小学校の研究

「学びをつくる」から
「漸進する学び」へ

埼玉大学教育学部附属小学校

研究主任 塩盛 秀雄



「学びをつくる」とは

・ 目指す児童像

「進んで問題を見だし、
よりよい解決に向けて

ねばり強くやり抜く子」

・ 児童「自覚」と「自己決定」を 繰り返す

・ 教師「子供の側（がわ）に立つ」



「学びをつくる」とは ～学習場面から～

最後まで車を
走らせた
(自分事として)

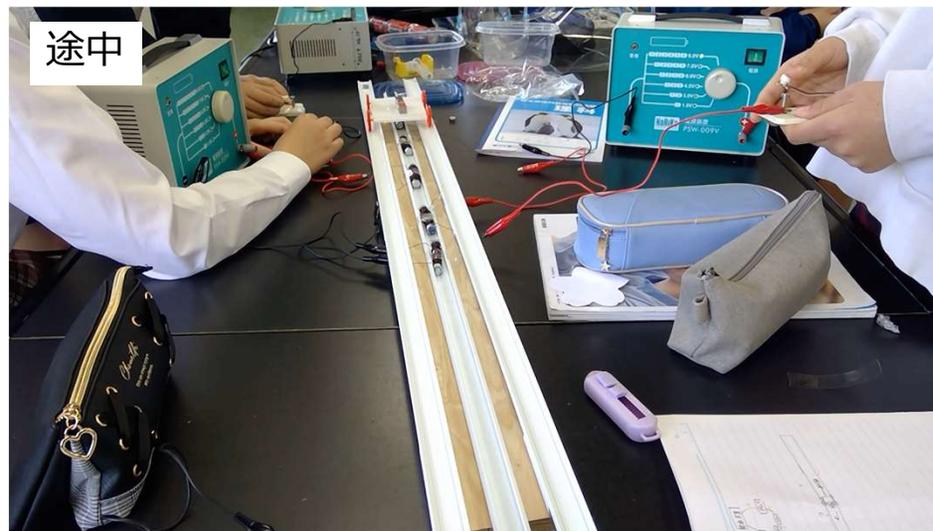
電流をおおきく
すればいいかな
(既習事項から)

一つ目ですーっと
進んだところに、
二つ目の電磁石を
設置して・・・
(試行錯誤から)

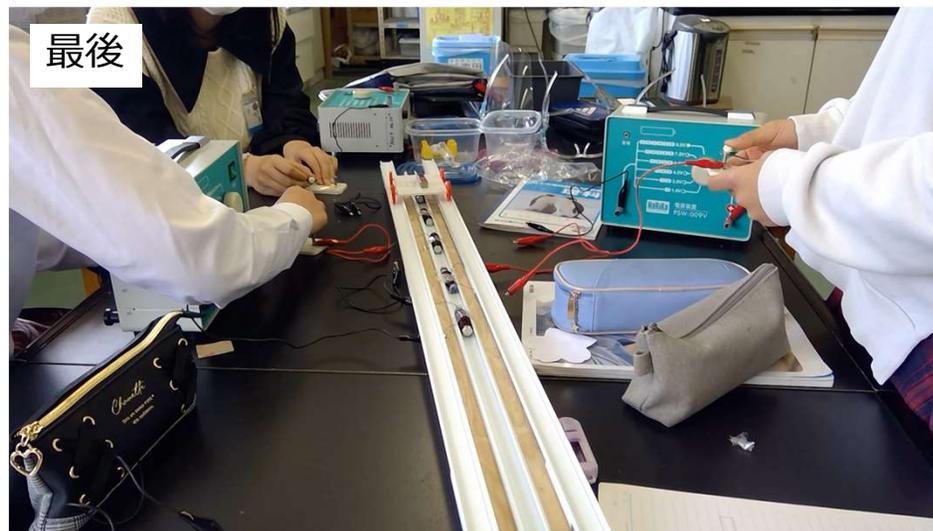
すーっと進んでくるから、
過ぎそうなところで
スイッチを入れて！
(他者との協働から)



途中



最後



「学びをつくる」から新研究へ

～「学びをつくる」を振り返って～

(成果)

児童の姿、教師の意識がよくなった。

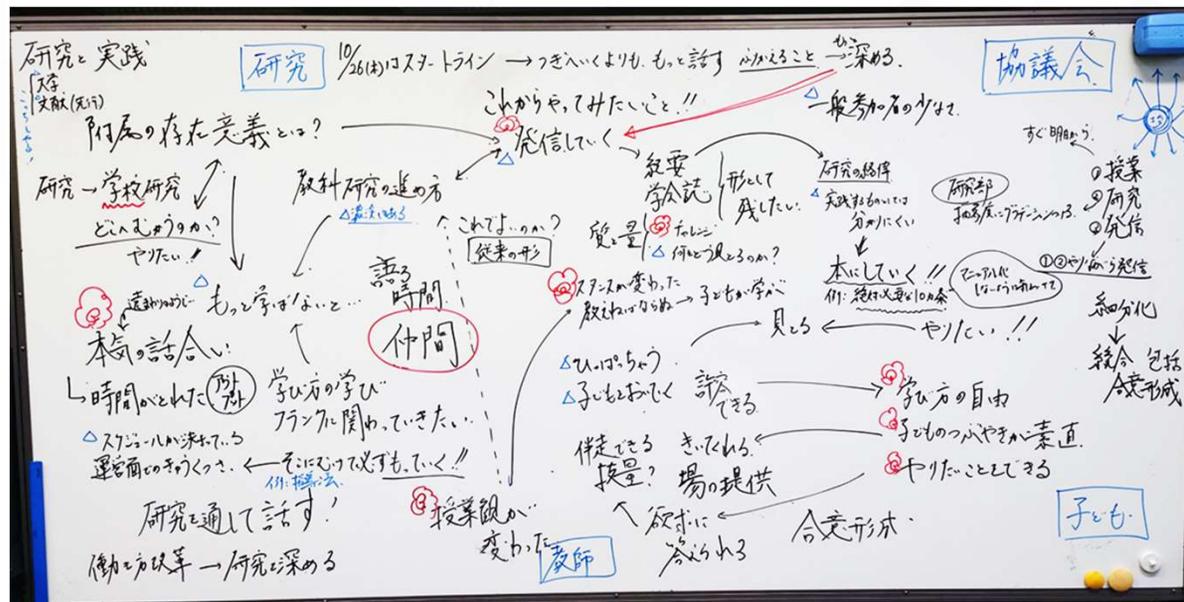
指導の仕方、見取り方が変わった。

(課題)

児童自身が「学び」について評価していない(質的に)

教師の評価規準(基準)はあっても、児童は認識していない。させてない。

児童の変容について、何が要因となったのかなど、量的な判断ができていない。



新研究には何を・・・。

～1月12日（木）研究全体会后～

○ 学びをつくる (興味関心を高める、思いを生かす、学びに何か力人間性等)

○ 育みたい力 (探究、問いを見いだす、情報活用)

○ 効果的な指導法 (学習方法、教師行動、発問、対話の検証)

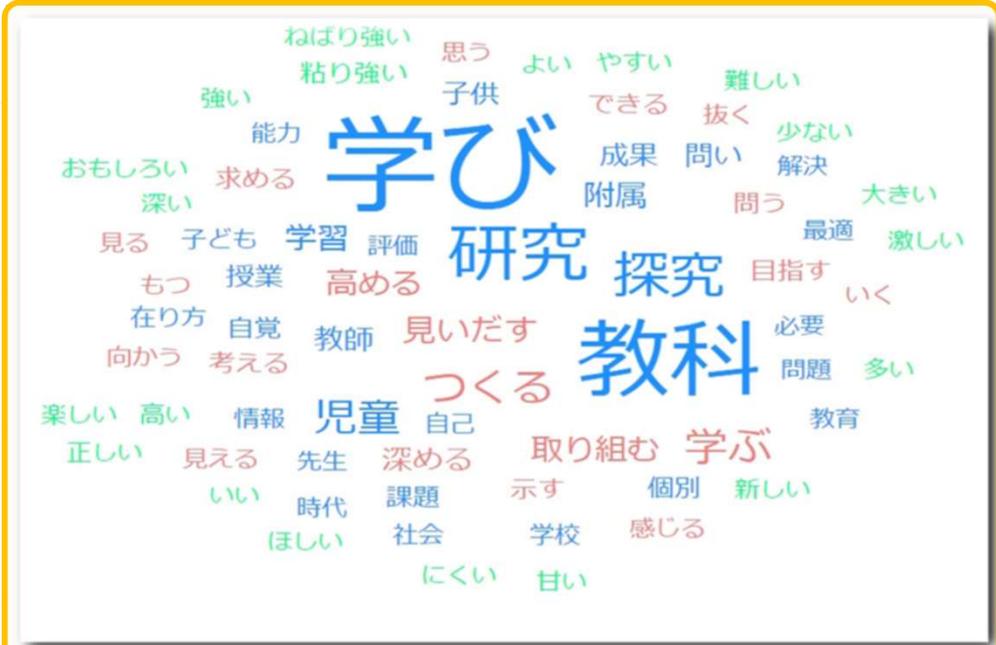
○ 評価 (子どもの見取り、質的・量的評価)

○ 研究の在り方 (研究組織、研究方法)

教科の本質
 ・教科
 ・一人一人を
 ・自由さ、
 ・自分が大事にしたいこと
 ・子どもと見方
 ・授業

個人の視点
 ・個人と学校
 ・トップ・ボトム
 ・<今まで>
 ・すり合わせる
 ・研究の余地が必要

場感?
 ・学びをつくる発展
 ・有効性
 ・進歩していく



強み、好き、質、心理的安全性、こだわり、意味、表現、自律、クリティカルシンキング、個別最適、探究、創造、思い、やり抜く、非認知能力、教科横断的、海外、子供の見方、伴走者、新しい授業観、必要感、ヘルスリテラシー etc.

新研究で明らかにしたいことは？

学びをつくる

自覚・自己決定

教科の本質

思いをもって

自分事に捉える

探究

未来を生きる

- ・科学技術・イノベーション基本計画から考えた
- ・仮に「探究(力)」というキーワードの下、「学び方」や「学ぶ姿」に着目した研究をしていくとよいか
- ・つまり資質・能力を高める研究か
- ・「未来」の学びというキーワードが出てくるか
- ・4年間持ち続けられる力がいい
- ・児童にとって思いついたときにできる、想像したときにできる研究
- ・実現する力を捉えるような研究
- ・学ぶ意味を考え、見通しと振り返りができる人は、学びに向かっているといえるか
- ・できた、できそうだという授業が理想か
- ・学習指導要領に沿った授業が求められている
- ・児童が思いついた時に、やりたいやれそう、やってみてどうだったか振り返るというような授業がベースとなるか

- ・これからの時代を見定めて、必要な力を決めていくべきではないか
- ・学び方(課題発見、課題解決、目指すところを決められる)を意識した研究ではどうか
- ・「内的」なアプローチか「力」としてのアプローチか

課題発見

課題解決

- ・研究の方向性…「未来につなげる力」「社会で通用する力」を小学校で着実に育めるような研究
 - ・具体的にまとめると…「自律」や「自己効力感」を量的アンケートで図りながら、この授業、この学びを通して、これさえやっていけば俺は大丈夫というような研究をしていきたい
- ※自律(エドワード・デシ、リチャード・ライアン氏参照)

やりたい・やれそう

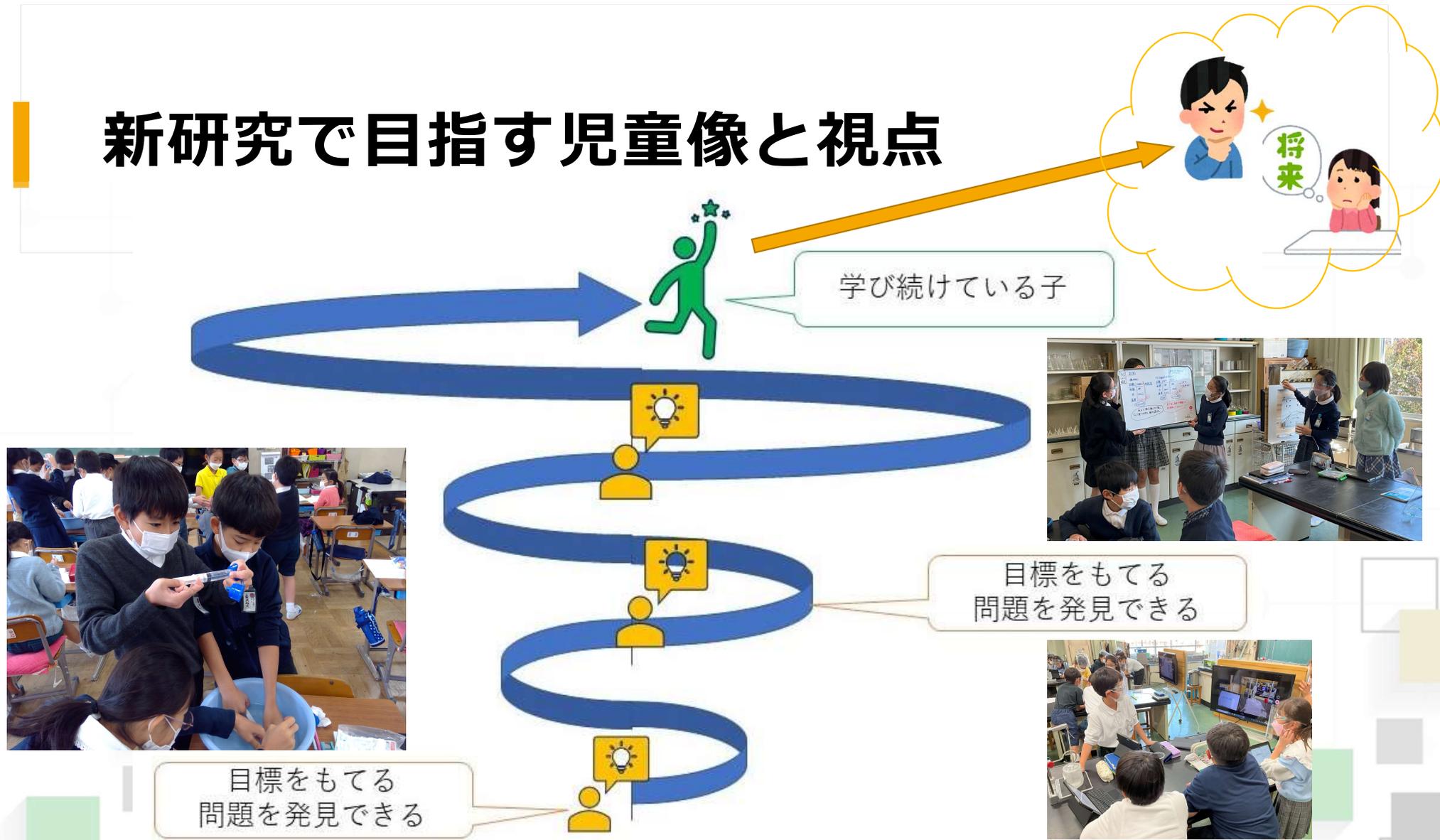
実現する力

社会で通用する

自己効力感

未来に向けて学び続ける・なりたい自分になる
目標をもてるようにすること

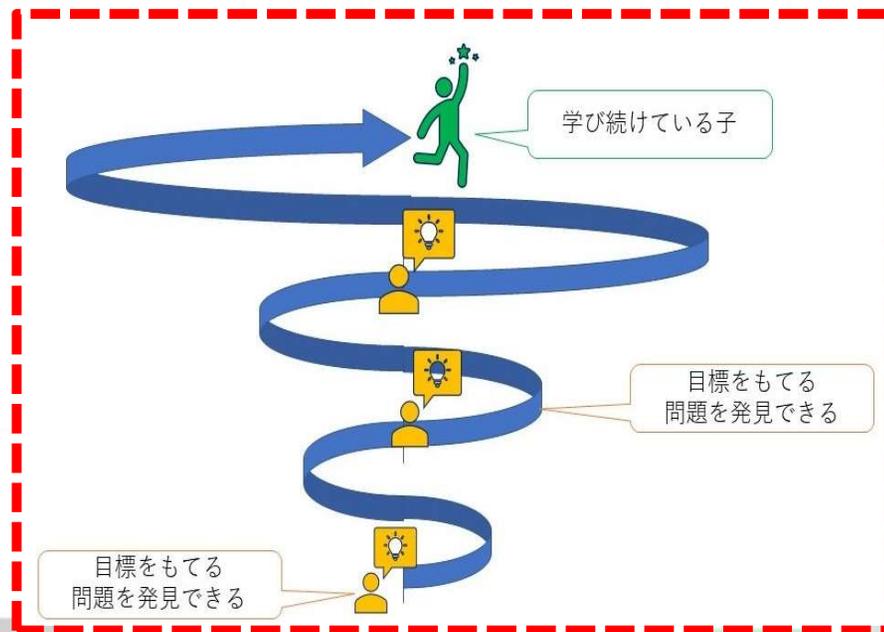
新研究で目指す児童像と視点



新学校研究主題の決定

漸進する学び

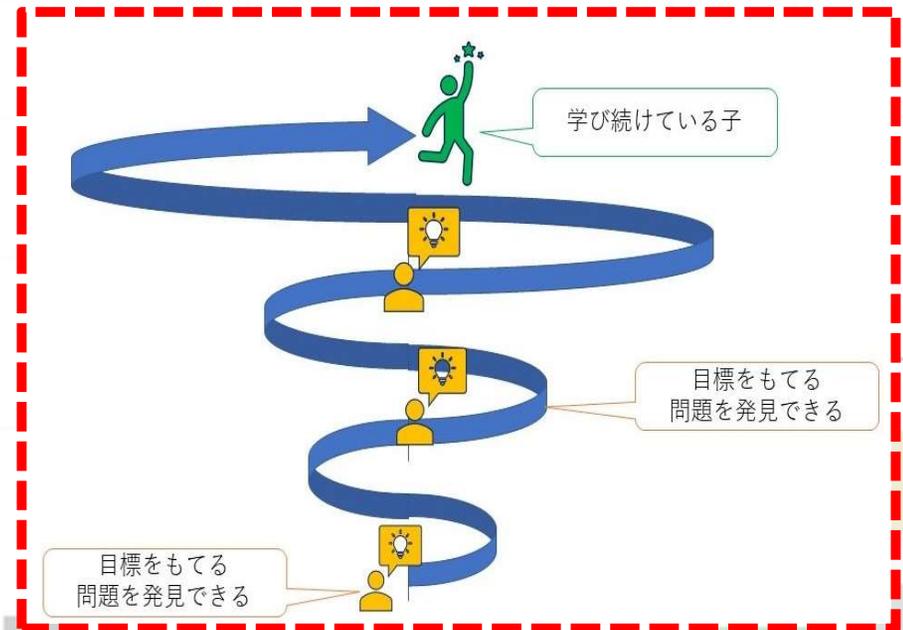
- ① 日々の授業から変えていきたいという「覚悟」
- ② 主体的に学ぶ、学びを継続する、学んだ先に未来を掴める
- ③ 学びを続けている状態、未来へ向かっている状態を示す



「漸進する学び」とは？

【これから明らかにしたいこと】

- 附属小学校が捉える「学び」とは
各教科でどのように捉え、表現するか
- 「学び続ける子」とはどのような姿であるか
- 「目標をもてるようにすること」が
どのように「学び続ける子」に関わっているか
- 各教科において、「目標をもった」という状態を
どのように見取っていくか



ご清聴
ありがとうございました

研究協議会

令和5年10月

17日（火）算数、理科、生活・総合、音楽、家庭

18日（水）国語、社会、図工、体育、健康教育

令和5年

第1次案内

10月17日（火）18日（水）

埼玉大学教育学部附属小学校

研究主題

ぜん しん
『漸進する学び』
（1年次）

第91回小学校教育研究協議会

